

『LOVE BADMINTON—多くの仲間との出会い—』

日本教職員バドミントン連盟理事長 高橋 英夫

司会（辻中）：平成16年に鳥取インターハイを開催したときに、審判員、競技役員、インターハイに備えてどのように育てていくかということで、高橋先生に来ていただきまして、ご講演をしていただきました。そのような縁で、今大会の講師をお願いしました。高橋先生は日本で初めてBWFの国際レフェリーになられた先生です。以来22年間、国際レフェリーとして、世界各国で活躍してこられました。日本でいうルール、競技規則すべて高橋先生の解釈に基づいて、日々、われわれがプレイしているバドミントンは成り立っていると私は思っています。本日は楽しくて有意義なご講演が聴けるんじゃないかなと思っています。皆さん、短い時間ではありますが、ちょっと楽しんでいただけたらと思っています。それでは、高橋先生、お願いします。



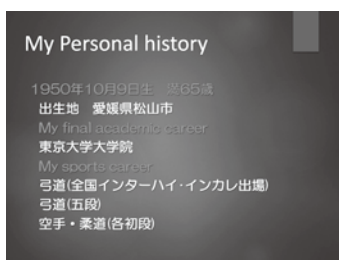
(1)



(2)



(3)



(4)

高橋：辻中先生からずいぶん過分なご紹介していただきました。私、そんな誇れるようなことやっておりません。昨年、銭谷専務理事からいいお話をいただきました。彼は全日本総合7回優勝です。スターの選手です。聞いていても、とっても楽しかったし勉強にもなりました。私は、ほとんど競技歴はありません。まったく別のスポーツをやっております。バドミントンはたまたま学生と一緒に始めて、なぜかよくわかりませんが、どんどん好きになりまして。そうこうしているうちに、家内に言わせると滑稽なぐらいにのぼせ上がっていったということです。半分道楽だと。以来、30年ぐらいバドミントン活動に携わってまいりました。こんな私でも、一生懸命やれば、こういう楽しい思い出ができるっていう、今日はその回顧録といえますか、そして、最後のほうにはまじめなルール関係のお話とか、国際情勢のお話とか、そういったことも含めて、1時間位ですがお付き合い願いたいと思います。どうか宜しくお願いいたします。

ここには三王さん、辻中先生、宮路さんがいます。審判の仲間が結構いらっしゃるんですね。ルールについてお話したときには、あまり質問しないでくださいね。

まずこの写真ですが、日本教職員バドミントン連盟の執行部でございます。本当に教職員連盟の執行部に支えられて、私、もう理事長が10年目になります。本当に楽しい連盟活動をさせていただいております。(1)

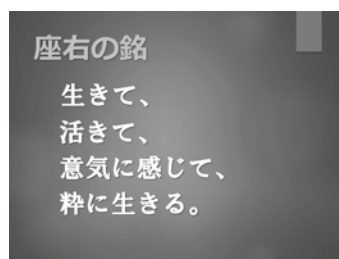
次の写真ですが、実は私、学生時代に弓道をやっております、弓道錬士5段までいきました。(2) 多分、教職員連盟の方々にも本邦初公開だと思います。次の写真はジャパンオープンでずっと東京都バドミントン協会でお世話いただいております、ラインジャッジの皆さま方です。いい笑顔でしょう。僕はとてもこのスナップが好きです。(3)

エンジョイ・バドミントン。僕は基本的には、どんなレベルの高いプレイであっても、私のようなへなちょこのバドミントンプレイであっても、共通しているのは、とにかくバドミントンを楽しむということだと思います。

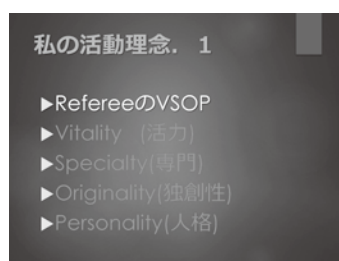
これは私の履歴です。恥ずかしながら、満65歳になります。愛媛の逸見先生と同じ年で、彼は竹馬の友なのです。小さいころから一緒に



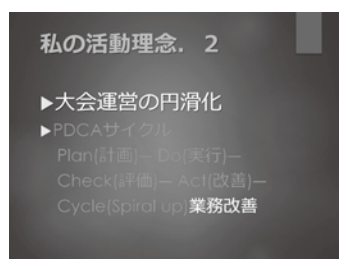
(5)



(6)



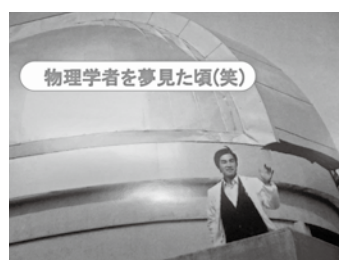
(7)



(8)



(9)



(10)

遊んだ仲です。愛媛県松山市であります。マイスポーツキャリアというところをちょっと見ていただいて。先程も申し上げましたが、弓道をやってまして、高校のときには和歌山と福井のインターハイに出場しました。勿論インカレも。それから、小さいころから空手とか柔道を習わせられまして、一応、初段です。空手は剛柔流をやります。僕とけんかしないほうがいいですよ（笑）。(4)

それから、今の私のバドミントンのポジションですね。今、アジア連盟の副会長を昨年からやらせていただいています。前会長の榎井さんが辞めて、その後、日本から1人出そうということで、選挙で選ばれました。幸か不幸か、大変忙しくなりました。家内はカンカンになって怒っています。2019年まで任期があるので、それまで勘弁してくれとお願いしています。日本協会では、1997年に初めて理事になりました。今年で20年目になります。多分、日本協会の理事で一番古参だと思います。当時は46歳で一番若かったんですが、今、一番古い理事となりました。

世界バドミントン連盟の国際審判員は、1989年に資格を取得して、1994年で終わって、その後、国際レフェリーの資格をとりました。それが1994年、マレーシア、クアラルンプールで取得しまして、2015年で満期終了、定年でリタイアしました。あとは全国私学（高校）の副会長を仰せつかっております。

次の写真は私の本職です。(5) まだ現職で働いております。次は私の座右の銘です。「生きて、生きて、意気に感じて、粋に生きる」。死んだ親父の遺言のようなもので、男はこうじゃなくちゃいかん、といつも言っていました。(6)

「私の活動理念1」レフェリーのVSOP、(7) これはよくレフェリー講習会で使うのですが、Vitality、活力がなきゃ駄目です。Specialty、いわゆるレフェリー部門のルール、知識も含めて全部スペシャリストじゃなきゃいけない。知識なくして、何のレフェリーだと。まず、これが基本です。それからOriginality、独創性。これがコーチと少し違って、あまり突飛な独創性は困るんです。しかし、レフェリーは、そのレフェリーにしかできないような、独創性を持ったいいレフェリーになってほしい。それから最後は言うまでもなくPersonality、人格者じゃなきゃいけない。これ、基本です。レフェリーは人格者じゃなきゃいけない。といいながら、僕は人格者でも何でもありませんけど、長いことやらせていただいています。こういう4つの要素が必要だということです。

「私の活動理念2」大会運営の円滑化のために、PDCAサイクル。(8) まずPlanning、計画をする、そして実行する、Doですね。そしてCheck、評価をする、そしてAction、改善をする。その結果、また新しい業務改善に取り組む。いわゆるスパイラルアップというんですね。これを必ずやらないと、大会は円滑に運用できません。

「私の活動理念3」組織の長としてのモットーです。(9) これは自分の学校だけではなくて、今、教職員連盟の理事長をさせていただいておりますが、基本は、大事なものはコンプライアンス。いわゆる法令を守る、遵守する。ルールを守る。それからガバナンスですね、統治、統制ですね。やっぱり組織というのは統制がとれてないといけない。



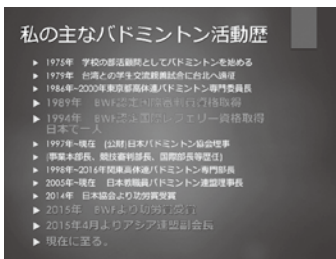
(11)



(12)



(13)



(14)



(15)



(16)

それから3つ目に、ヒューマニティ。だからといってぎすぎすした組織は駄目ですよ。そこには人情味がなきゃいかんでしょうということで、ヒューマニティ。それから、何より一番大事なのはサンクスの心です。感謝の言葉がないと駄目。われわれはボランティアの組織ですよ。皆さん、それぞれ職業を持たれて、本当に仕事が忙しいときに時間をとって、その中でバドミントン活動に奉仕されておられる。大変ですよ。であれば、感謝しなきゃいけない。使ってやっているんだとか、役員やらしてやってんだとか、上の者がそんな考えをもっちゃ駄目です。こういう仕事をしてくれてありがとう。常に感謝の言葉を持たなきゃいけない。これが私の考えであります。

最後に物理学者を夢見たこともあるんです。(10) 末は博士か大臣じゃないけど、本当にそういう頃がありました。いつの間にか挫折しましたけども(笑)。これは1973年全日本学生弓道選手権のときのものです。(11)

学校関係の交友録。これはまだ若いころ、1980年ごろ、うちの学校の物理学研究室です。(12) 実はUCLAと提携していたんです。これ、1998年の写真ですが、ロサンゼルスで。椅子に座っている右側の方がうちの理事長でございます。東京帝国大学の法学部を卒業されて、今、94歳で、現役で働いておられます。(13) この大先生の補佐を私はしているんです。私がしょっちゅう出かけますと、「また出かけていくのかね」とよく言われているんですけども、実はこの方、同じ郷土なんです。愛媛県松山市の生まれです。育ったのは東京の牛込なのですが、生まれたのは松山市。お母様が松山の方で、愛媛女子師範を卒業されておられる。そんな関係もあって、私、今の学校にいるわけです。

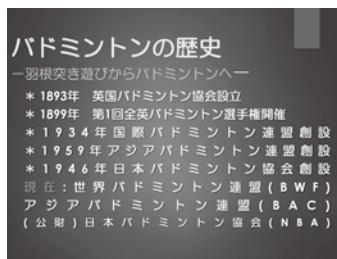
さて、これが活動歴(道楽?)なんですが、1989年にBWF認定の国際審判員の資格を取得して、1994年にBWF認定の国際レフェリーの資格を取得しました。2015年にはBWFから山田順一郎氏とともに功労賞をいただきました。本当に皆さん方のおかげでと感謝いたしております。昨年の4月にBadminton Asiaの副会長に就任いたしました。(14)

この写真は、若いとき。審判しているときのものです。初めてでしょ、見るの。1989年、中国の上海で、BWFの国際審判員の試験があつて合格したんですが、そのときの写真ですよ。もう随分古い写真です。(15)

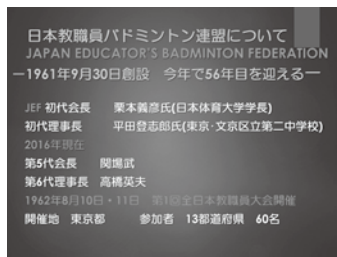
次の写真は、1994年にBWF国際レフェリーの試験がございまして、マレーシアのクアラルンプールですね。右端がジェフ・ロブソン、スウェーデンの方。この方が当時の、試験の先生です。左から三人目がニール・キャメロン。一番左がラオ・テン・チャン。皆さん、レフェリーです。(16)

私の主な渡航歴なんですが、一番多いのは韓国で22回行きました。アメリカに11回、マレーシア11回、メキシコ6回、中国5回、そのほかに台湾、香港、シンガポール、スペイン、イタリア、イギリス、フランス、インドネシアその他、多数の国に行っております。だから、家内が機嫌が悪いというのはわかるでしょう。

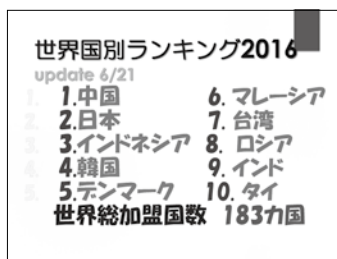
それから、バドミントンの歴史。(17) 国際バドミントン連盟が設立されたのは1934年、当時IBFと呼んでいました。現在はBWFです。アジアバドミントン連盟の設立は1959年で当時ABCといいましたが、今正式には、Badminton Asiaといいます。日本協会はNBAであります。



(17)



(18)



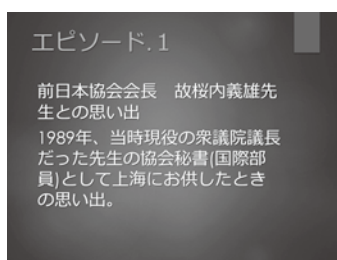
(19)



(20)



(21)



(22)

教職員連盟についても簡単にガイダンスをしておきます。Japan Educator's Badminton Federation、通称JEFといいます。1961年9月30日に創設、今年で56年目を迎えます。初代会長が栗本先生、日本体育大学の学長。初代理事長は平田登志郎先生。現在も顧問として、私どもと一緒に仕事をしていただいております。現在は慶應義塾大学の関場先生が会長。第6代の会長。私が6代目の理事長で、稲石先生は5代目の理事長ということであります。最初のJEFの大会、1962年8月10日、11日と2日間、第1回の大会。東京都の、平田先生の学校、文京二中で開催されていまして、参加者13都道府県、総数60名だったそうです。それから見れば、本当に隔世の感がいたします。(18)

次はバドミントンの基礎知識です。『貴方は知っていますか』日本のバドミントンの人口、第5位で930万人です。公益財団法人日本バドミントン協会の登録人数は約26万人。第6位が卓球、第7位サッカー、第8位は野球なのです。一番多いのは何かといいますと、ウォーキングなのです。

バドミントンの世界国別ランキングですが、6月21日の最新です。1番が中国、2番が日本、3番目がインドネシア。ずっと韓国が3番だったんですが、今、3番目にインドネシアが上がりました。4番韓国、デンマーク、マレーシア、台湾、ロシア、インド、タイと続いています。ご覧ください、ベスト10にアジアが8カ国入っています。世界のバドミントンの加盟国数は、このあいだのBWFの総会の発表にあったので183カ国。そのうち、アジア連盟に加盟している国が42カ国。で、アジアがトップ10のうち、8カ国なんです。こういう状況です。(19)

これも『知っていますか??』。皆さん、Sports for Tomorrowってご存じですか。2013年のIOCの総会のときに、安倍首相が提言されました。2014年～2020年までの7年間で、100カ国1,000万人以上の普及活動を行うと。200億円予算を出しましょうというのが、このSports for Tomorrowです。それで、本協会も昨年度、モルディブの選手団をお迎えしました。これは実を言うと、日本協会が率先してやったわけでもなくて、西武台千葉の高瀬先生の奥様がやっておられるNPO法人が受け入れたんですね。2名のモルディブの選手が来ました。真ん中にいるのは、ムーサさんといって、モルディブのバドミントン協会の会長で、私と同じアジア連盟の理事です。(20)【編集部注：今年度も受け入れました。本年度は日本協会主催、本連盟主管となっております。今号の特集記事をお読みください。】

次は、私のバドミントンの交友録です。私は常々人は財産だと考えています。まず、綿貫民輔会長でございます。今日も総会においでになります。もう10年以上、ずっと教職員大会にだけは顔を出してご挨拶いただいています。素晴らしい方です。ほんとに感謝しています。(21)

『エピソード1』は桜内義雄先生。前の会長さんです。日本協会は衆議院議長と何か関係があるんですかね。お二人とも衆議院議長でした。桜内先生とは深い思い出がありまして。私、当時、日本バドミントン協会の一国際委員で、理事でもなんでもない。そのときに当時の小飼専務理事から頼まれて桜内先生の、いわゆる日本協会としての秘書という形で行ってくれと。それで1989年、現役の衆議院議長、桜内先生と上海に行きました。上海の空港についたときに、すごいんですね。



(23)

エピソード.2

バドミントン界の二人の恩人
今北基夫元専断理事(故人)
国際部長、IBF理事を歴任。
阿彦周宜先生(故人、日本で最
初のIBF国際審判員)
両氏とも日本の国際化に大いに
貢献された。

(24)



(25)



(26)



(27)

エピソード.3

前NHK会長、日本協会副会長
前アジア連盟会長
元日本ユニシス社長。
有能、豪腕、人情味。

(28)

当時、まだ中国ってね、今から30年ぐらい前なんですけど、国家体制が非常に厳しくて。先導車っていうんですか、パトカー。それから、立派な黒塗りの車が4台、5台。一番先頭に櫻内先生乗って、僕も乗せてもらって、後部座席に。パトカー先導で体育館に行くんですよ。本当に驚きましたね。そんなの初めてでしたね。ついでに申し上げますと、1992年にバルセロナオリンピックがありましたね。そのときに日本を代表して、櫻内先生がIOCに掛け合ってくれたのです。これは櫻内先生が非常に政治的に強い方だったので、当時のIBF、世界バドミントン連盟から日本に依頼があつて。それで、櫻内先生が非常に強いプッシュをIOCにしてくださって、1992年から正式種目になったという経緯があります。(22) (23)

『エピソード2』1989年当時の日本協会国際部。左は今北基夫さんといつて、元日本バドミントン協会の専断理事です。右側が私の国際審判員の先輩で、日本で最初の国際審判員です。阿彦周宜先生、横浜市立大学の先生でした。(24) 実は2人とも、もうお亡くなりになりました。今北さんは国際部長、それからIBFの理事を歴任されて、多分、私の知る限りにおいては、日本協会の歴代の国際担当理事の中で、おそらくナンバーワンだと思います。彼の右に出る理事がいなかったと思います。言うともた、お叱り受けるかもわからないけれど、少なくとも私はそう思っています。今でも非常に尊敬しております。その代わりずい分怒られましたよ。国際部で下についているときに、マレーシアにレターを送るから書いておいてくれと言われたので今北さんにFAXを送ったら「高橋君、なんだこの英語は。教員レベルの英語はこんなものか。俺が教えてやる」と言って、オフィシャルなビジネス英語というんですかね、随分教えていただきました。一部上場の極東貿易の社長さんですからね。怒られてばかりでしたけど、いい勉強になりました。私が今日あるのは今北さんのお陰だと感謝しています。(25)

それから阿彦先生。私の審判の恩人です。彼の紹介で、僕は国際審判員の試験を受けることができました。私が日本で2人目です。阿彦先生が1番、私が2番、3番目が今井正男さんと山田順一郎さんかな。それから三王さんかな。そういう順番ですね。1989年、インドネシアの第1回スデイルマンカップで、阿彦先生と私も、審判員として初めて参加しました。そのときに中日が休日だったので2人でインドネシア大学を表敬訪問しました。いい思い出です。(26)

なんで川渕さんと写っているかという、福島県の富岡中学校、高等学校の開校式典でお会いしたからです。公立としては珍しいんですがバドミントンだけでなくサッカーとゴルフでオリンピック選手をつくろうということで立ち上げた学校です。県立高校では日本で初めてです。そのこけら落としのときに、サッカー協会から川渕さん、ゴルフは樋口さんかな、なんで日本協会は僕なのかよくわからないんだけど、当時の専断理事の関根先生から依頼されて僕が行ったんですね。(27)

『エピソード3』です。これは紹介しなきゃいけないね。榎井勝人、現在、NHKの会長です(注：現在は退任)。この方は、実はアジア連盟の会長をされていまして。いろいろニュースになりましたね。大変有能な方で、元は日本ユニシスの社長をやっておられました。2012年



梶井勝人NHK会長と

(29)

エピソード.4

2011年の東日本大震災の時、全日本教職員大会山形大会が急遽開催不可能になった。その時愛媛県松山市に開催をお願いしたところ、快く引き受けて頂いた。感謝、感謝。愛媛県バドミントン協会にも感謝。

(30)



中村時広愛媛県知事と

(31)



全日本教職員バドミントン選手権大会
(愛媛県松山市にて)

(32)



世界バドミントン連盟会長エリック・ホイヤー氏と中国
東莞市内のホテルにて(2015年)

(33)

エピソード.5

- ▶Do your the best for the flag.
2004年USA(アナハイム)にて
- ▶NormalとSpecial
1998年マレーシアでの思い出

(34)

にBACの選挙で改選があって、彼が会長になったのですが、2013年に突如解任されました。その理由は私自身詳細には把握しておりませんが、当時、日本を含めて大変大きな話題になったということです。弁もたつし、口も悪いが(すみません)、大変思いやりや、人情味のある方で僕がアジア連盟の副会長になったときも、「おめでとう、高橋さん」とお言葉をかけていただきました。(28) (29)

『エピソード4』これが私の大好きな中村時広愛媛県知事でございます。なんでこれをわざわざ出したかという、私、先ほども申しましたように愛媛県松山市出身で、時広さんは慶應義塾大学のバドミントン部のOBです。ですから、実際にバドミントンの試合に出ていたんです。彼は、実は慶應の幼稚舎から慶應義塾大学まで、ずっと下から上まで上がった方です。だから、いわゆる幼年時代、少年時代、青春期の時代、全部東京で育ったのです。私は生まれ育ちが松山市なので、私と間逆なのです。その彼がなんで愛媛県知事になったかという、お父さんの中村時雄さんが松山市長だったのです。最初はお父さんの後を継いで松山市長になって、その後、愛媛県知事に転身されて現在までご活躍中です。ほんとにバドミントン好きな、スポーツ行政にも理解のある素晴らしい県知事です。

次は全日本教職員松山大会のレセプションです。一番右が野志克仁松山市長です。2011年、東日本大震災のときに全日本教職員の山形大会が、急遽開催できなくなりました。そのときに、思い付いたのが逸見先生の顔です。ちょっと難しいかもしれないが何とか愛媛県でできないだろうかとお願ひしたら、快諾していただきましてね。濱中さんや松野木さん、みんなで協力してくれて。ほんとに3カ月ぐらいしか準備期間がなかったですよ。ほんとに感謝しています。(30) (31) (32)

『世界、アジアのバドミントン仲間』の写真がたくさんあります。(松浦進二君、徳田敦子さん、上田拓馬君、オグシオ、スエマエ、2006年アジア選手権の女子チーム、男子チーム、芝スミ子さん、フジカキ、小椋選手、陣内選手、タカマツ等々。)これがエリック・ホイヤーさんです。現在のBWF会長です。(33)

国際交流でとっても大切なのはスキンシップです、信頼です。英語のジョークを覚えとかなきゃいけない。僕の英語のジョークは全部、辻中氏から教えてもらっています。「Now I am too tired. Why? This morning I came here by bicycle. My bicycle has two tires.」誰も笑ってくれないんですよ。

『エピソード5』Do your the best for the flag. これはアテネオリンピックのときに、たまたま私、アメリカのアナハイムに行きまして。パイさんという当時のBWF副会長が、私を全米のオリンピックの壮行会に呼んでくれたんです。そのとき横断幕にこう書いてあった。「Do your the best for the flag」。直訳すれば、旗のためにベストを尽くしなさい。旗というのは、ナショナルフラッグ、すなわち国家ですね。国家に貢献せよということです。あなたたちは国を代表しているんだ、だから、国のために頑張れ、ということです。これ、最近、学生にも使う。Flagを学校の校旗に変えと、学校のためにベストを尽くせ。学校に貢献せよ。何でも使えるんです。何かあったら使ってください。(34)



(35)



(36)



(37)



(38)



(39)



(40)

『エピソード6』のレフェリー試験の話をしつこうかな。レフェリー試験のときに、ホテルの部屋で思い出があるのは、当時、試験のときは2人1部屋でした。アジア連盟の副会長となると、セミスイートですよ。なんでこんなに差があるのかなって、ほんとに。三王さんが国際審判で行ったときは川の字で、1つのベッドに3人で寝たよね。僕も男性と一つのベッドで寝たことある。そのとき、ワンチャイというタイランドの人で、腹がこんな出ている人で。寝るときに赤いブリーフ1枚なんですよ。この人と俺、本当に寝るのかなと思って、どうしようかなと考えたわけです。セミダブルぐらいですよ。そこに彼が先に入って「カモン、高橋」と言われると気持ち悪くて、気持ち悪くて(笑)。まあまあと、それで僕はソファで寝たわけです。そういう思い出があります。(35)

次の写真はBWF会長のポール・エリック氏、デンマーク。アジア連盟会長のアントン氏、インドネシア。BWF理事のジャスセン氏、バーレーンです。(36) 次のこの写真、初めて国際審判団に入ったときの写真です。一番右側の人は当時IBFのパーマー会長。(37)

これは僕がずいぶんお世話になった1991年にイングランドで、ロニー・ロワンというIBFの事務局長さんでした。僕、審判の基本も何もわからないときに、彼女からずいぶん教わりました。もうお辞めになっています。(38)

これが1994年、この女性是中国の呂聖栄氏。この方も元のBWFの会長。右がニール・キャメロン氏、ノルウェー。BWFの副会長でした。東京で撮った写真です。(39)

次の写真は、僕のレフェリーの恩師、ラオ・テン・チャン氏。(40) 『エピソード7』今、アジア連盟にはアフガニスタン、シリア、イランの理事がいます。2016年のBWF総会のときに、シリアの会長がマイクを持ったんです。彼らは英語をしゃべれませんからね、自分の国の言葉のスペイン語で言ったのが、英語に翻訳されて聞こえてくるんですが、感動的な発表がありましたね。シリアはしょっちゅう爆破される。体育館で試合をしているとき、目の前で自爆テロがあって、吹っ飛ぶんだと、目の前の選手がドーンと。そういう光景を見た。自分も拉致された。ISに拉致された。身代金をアサド大統領が払ってくれた。だから、僕はこうやって生きてられる。今、こういう中でも、われわれはバドミントン活動をしているんだということを。要は、最後は何を言ったかという支援を頼みたいと、もうお金がないと。シャトル代もなければ、ポストもネットもない。どうか支援をしていただきたいという旨の発言がありました。本当に過酷な条件の中、頭が下がる思いです。(41)

『エピソード8』は体育館の間接照明についてです。これはジャカルタのセナヤン体育館。有名なバドミントンの殿堂の体育館です。ヨネックスオープンジャパンでは、去年はクォーターファイナルから入れたんですが、2,000万円かかりました。照明使うだけで。今年もやりですけど、中国やインドネシアは普通に予選からやっています。お金があるんですね。(42)

次の写真は2016年アジア大会、ついこの間です。中国の武漢でありましてね。私、プレゼンターっていう仕事を受けた。(43) いい思い出

エピソード7

今、アフガニスタン、シリア、イラン所属のBAC理事がいます。どの国も激しい戦火を逃れて、自国のバドミントン競技発展の為に努力しています。バドミントン強国で平和国家の日本は、これらの国々の為に人的貢献や物的援助をしなくてはならないと思います。

(41)



(42)



(43)



(44)

賭博問題の事情説明・謝罪

4月19日発覚の桃田・田児選手他計9名の非合法の賭博問題について、アジア連盟理事会にて事情説明と謝罪をした。多くの理事から日本協会の処分が厳しいのではとのご意見あり。ただ、日本協会の決定は当然尊重するとのことであった。BWFの公式見解は、特に処分の必要性はないが、今後、選手のメンタルトレーニング強化の必要性を要望されるに留まった。

(45)

試験的導入における新規定について

- ▶ Setting Option1:
15点までのセティング
10-0の時は、先に2点リードしたサイドが勝者
14-0の時は先に15点を獲得したサイドが勝者
- Setting Option2:
10点オールから3点先取したサイドが勝者
[スコア表示の例]
11-10(3-2) 11-10(3-1) 11-10(3-0)
- ▶ インターバルは全て1分間

(46)

だったんですが、非常に複雑です。女子のダブルスで勝ったのは高橋・松友、負けたのは福万・與猶。もし、福万・與猶が勝ってれば、彼女らはオリンピックに行けたんです。この試合の1戦で勝てば。この福万・與猶が前の日に2時間20分という長い試合で世界ランキング2位のインドネシアペアに、勝っているんです。あとはこの高橋・松友を倒せばオリンピックに行けるんだと、すごい意気込んでました。現地のマスコミから「どんな思いですか」と聞かれたんですが、何とも言えません、これは本人たちの問題です。僕はコメントする立場にないと言ったぐらい、当時、向こうのメディアではすごく注目されていました。結果、完膚なきまでに、高橋・松友組は福万・與猶組に勝利しました。非情とも思える程やられました。スコア2-0の完全勝利でした。

ところが向こうのマスコミは、日本の選手は素晴らしいと。普通ならちょっと負けてやれば、両方オリンピック出られると考えるだろうと。でも、正々堂々と試合したのがとても感動したというのが、向こうの中国のメディア論。大半がそうでした。日本人の選手は素晴らしい。ところが福万と與猶はずっと泣いているんです。特に福万がずっと泣いていました。可哀想でしたね。そのような思い出があります。

この写真、2016年5月19日、BACの理事会の様子です。その後、アジア連盟総会と二日後にBWF総会が開かれました。アジア連盟の理事会はどのぐらいやるかっていうと、8時間ですよ。僕も行ってびっくりしたのですが、だいたい朝の10時から会議が始まって、途中12時とかコーヒータイトムとか食事をして、あと夕方の方の5時までずっと会議ですよ。(44)

次は、4月19日発覚の、桃田と田児選手ほか9名の非合法の賭博問題について、アジア連盟の理事会にて、事情説明と謝罪を私がいたしました。多くの理事から日本協会の処分が厳しいというご意見がありました。ただ、日本協会の決定は当然、尊重するとのことでありました。BWFの公式見解は「特に処分の必要はない」というものです。今後、ナショナルチームの選手についてのメンタルトレーニングを強化する必要があるよというぐらいにとどまったということで、実は何のペナルティーもありません、BWFもアジア連盟も。あくまでも、田児と桃田については日本協会の処分です。それから、それ以外の9選手もそうです。マスコミに出てない部分の発表です。(45)

ここから新ルールについてです。11ポイント5ゲーム制は、本当は今年のリオオリンピックが終わってから、正式に施行するはずだった。ところがいろいろあって、選手会が反対だった。それから、アジア連盟も反対した。その関係で、2018年のBWFの総会に、改めて議題にすることになった。ですから、今回のリオオリンピック終わった以降、来年、2017年12月31日までをテスト期間としてBWFのレベル3、レベル4以下の国際大会で実施して、そのデータをBWFへ送り、それを検証した結果、11ポイント5ゲーム制を施行するかどうかを考えましょう、と変わったんです。本当は、会長のエリック・ホイヤー氏はやるつもりだった。でもかなりの反対があったようです。それでこういう結果になった。だから、まだどうなるかわからない。11ポイント5ゲーム制案か、現行の21ポイント3ゲーム制が継続されるの

▶ P.14競技規則第13条 フォルト第3項(2)
 ▶ (2)両ポスト間のネットの上を越えなかったとき
 として、上記2位の両球は2014年のBWF総会時に
 両7割除されたが、このまま問題ないで日本
 協会としてほはこれを採用する。(2015年5月発行)
 2016年5月発行→ <http://play.jpoly.shuffle>
 Fail to pass over the net (両球ネット上を越えなかった)
 ▶ P.18競技規則第16条 3.4.4(1)
 (2)一度審判を受けた後、再び違反した場合は、
 そのサイドをフォルトとする。一つのサイドによ
 り両コート間の同様の違反行為によるフォルトは
 連続的な違反と見なされる。

2016-2017競技規則改訂 主な箇所抜粋

- ▶ P.53大会運営規程第19条
- ▶ 本会主催の第1回大会の個人入会においては組み合わせ決定後、エントリーの変更はできない。また、マッチ(試合)を使用したものは、それより後の同一曜日及び同大会にエントリーした選手との対戦を自由な形にて行うことができない。ただし、ダブルラウンドの場合、実施したフレューアのパートナーは変更可能とする。〔BWT.GCRの改訂による〕
- ▶ P.56大会運営規程第24条(c)新規追加
- たばこの会社や製品に関与する広告は禁止とする。
- (BWT通達)

緊急通達 大会運営規程第19条一部改訂

- ▶ P.53大会運営規程第19条
 - ▶ 本会主催の第1種大会の入場観戦においては組み合わせた決闘後、エントリの要定ではない。また、マッチ(試合)を使用したものは、それより後の同一科目及び同一エントリを使用したものは同日午後3時において出場できない。ただし、タフな試合で、最良したフレイヤーのパートナーが、本大会の開始前に、IGFのGCMの承認を得た場合、本大会の開始前に、最良のフレイヤーが本人または本人の代表者を裁判所とする目的でなく、正副代表者を認める裁判所として競技監督官(フレイヤーが判断した場合、競技監督(レフェリー)の判断により、最良後の他のエントリ1種目に出場することを確認)ことがある。
- ▶ 審判期間 **H.28.7/1~9/10**
- ▶ 準正式施行 **H.28.7/11~**

2016年4月のBWF通達

- ▶ バドミントン賭博の全面禁止
携帯電話やタブレット等の通信機器を使用したりして
の、八百長試合は全面禁止とする。これは選手は勿論
レフェリー、主審、サービスジャッジ、線審、その他
競技役員、主催者、コーチ、監督全てに該当する。
その違反行為が疑われる場合は、バドミントン界永久
追放の処分を課す場合もある。

面白ルール.1

2016年よりBWFで承認されて日本で採用されなかった公認競技用規格第4条第1項
本会一種大会での主催、サービスジャッジは、黒または紺系のシャツ、黒系のスポン、黒系シューズの着用がのぞましい。
統一シャツが支給される場合は、その広告には、メーカーのロゴとその他のジャッジを一つまで表示されることが許される。ただし、ロゴの大きさは20cm²を超えてはならない。

面自ルール.2

「チャレンジ」
(ビデオ判定)について

日本では採用されていないが、
＜BWF・BACのレベルの高い公認国際大会等で採用されている。正式には「インスタント・レビュー・システム」という。

2014年にBWFの競技規則に規程される

2016年1月1日より試験的に以下のように改定された。

選手のチャレンジの要求は1ゲーム(2015年までは1マッチ)につき2回まで認められる。1回のチャレンジで失敗すれば残り1回のみ権利となる。成功すれば、そのまま2回の権利が保有される。

(53)

そのとき主審は?

選手よりチャレンジを要求されたら主審は左手を頭の上に挙げ、そして同時に要求のあったラインを指し示す。

判定は、レフェリーより指名された競技役員が行い、IN, OUT, NO DECISIONのいずれかの判定をし、画面でその結果を主審や観客そして選手に知らせる。

(54)



(55)



(56)

面白ルール. 3

カードに対する罰金制度

▶ 1年間の大会を通して

3回目以上のイエローカード US\$ 500

以降1回ごとに罰金が加算される US\$ 250

1回ごとのレッドカード US\$ 500

(その他の罰金制度)

1回目のコーチによる不品行な行為 US\$ 250

以降1回ごとに罰金が加算される US\$ 500

レフェリーの主催する監督会議の欠席 US\$ 250

(57)

BWF・BAC/ TOPIC

▶ ビーチバドミントン大会開催

第1回アジアビーチバドミントン選手権大会

開催

2016年9月 ベトナム

試合方式 トリプルス(男女混合)

ウェア: 水着

第1回世界ビーチバドミントン選手権大会

2017年 USA(サンディエゴ)

(58)

訳なかったのですが、全国に通達してありますから大丈夫です。時間がなかったもので、平成28年7月1日から9月10日までの試行期間としました。理事会が9月10日にある予定なので、そこで正式承認受けますから、正式施行が9月11日以降ということになっております。でも、もう運用して結構です。今日の教職員大会も同じですよ。(49)

バドミントン賭博の全面禁止。携帯電話、タブレットの通信機器を使用したりしての八百長は全面禁止。これは、選手はもちろん、レフェリー、主審、サービス、ジャッジ、線審、その他競技役員、主催者、コーチ、監督すべてに該当する。その違反行為がはなはだしい場合は、バドミントン界から永久追放の処分をするという通達で、各国連盟に來ました。それで一番心配だったのが桃田であり、田児だったのですが、彼らはこれに該当しない。そういう賭博ではないということ。要するにバドミントンに関する賭博が対象ですから。タブレットを持って、お前、今日負けてくれと。お互い同士や、監督同士でやる。例えば、これに勝てばオリンピックに出られる、というときに、幾らでOKなのか、じゃあ2,000ドルでどうだ、というようなことが実際に世界の大会であったのです。だから、こういう厳しい処罰にしたということです。(50)

面白ルール1は、審判員の服装です。日本では採用していませんけど、実は審判員は黒であります。黒系のズボン、黒系のシューズ、これは今、国際的な審判の着衣です。(51)

面白ルール2はチャレンジ、ビデオ判定。(52) これは2016年1月1日から、試験的に以下のように改訂された。前は1マッチにつき2回までチャレンジとれた。今は1ゲームにつき2回までチャレンジができます。しかし、1コートのみです、残念ながら。だから、不公平感があります。このシステムは、チャレンジを要求された場合、主審は左手を挙げます。そして、チャレンジを要求した、そのラインを指します。そして、このモニターを競技役員が判断をして、最終的にはこのように、アウトだったらコレクションアウト。ただ、これは自動的に判別しているわけではないのです。やっぱり最終的には競技役員が目で行っているわけです。だから、これが絶対とは、実は言い切れない。これはバドミントンだけじゃありません。バレーボールもそう、みんなそうです。そこまでまだ開発されていない。やっぱり目で見て判断しているということです。(注: その後開催されたYOJ2017で初めてオートマチック化された) (53) (54) (55) (56)

面白ルール3は罰金制度について。世界では3回目のイエローカードから500ドル罰金を徴収します。以降、1回ごとに罰金250ドルが徴収されます。それから、1回目のコーチによる不品行な行為に関する罰則行為には250ドル徴収される。それからレフェリーの主宰する監督会議に欠席をしただけで250ドル徴収される。これが国際ルールの罰金制度です。(57)

最新情報です。ビーチバドミントン選手権大会が初めてアジアであります。ベトナムです。来月9月。試合方式はダブルスではなく、トリプルス、男女混合です。そしてウェアは水着です。シャトルはナイロンシャトル。水着を着たい選手がいるのでしょうか。これが問題になっている(笑)。それから第1回世界ビーチバドミントン選手権大会も、

(最後に一言)

これから2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会までは、体の続く限りバドミントン活動を続けていきたいと思っております。
日本教職員バドミントン連盟の発展と充実の為に、全ての会員の先生方に今後とも温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(59)



(60)

来年、アメリカのサンディエゴで開催される予定になっています。これが国際的な流れとしての新しいバドミンントンの競技種目です。(58)

最後に一言。これからも末永く日本教職員バドミントン連盟の発展と充実のために、全ての会員の先生方に今後とも温かいご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。(59)

最後の写真はJEFの同志、私の仲間であります。これは50周年のときの写真です。以上でお話を終わらせていただきたいと思います。ご清聴に感謝致します。最後、すみません、時間がなくて走り、走りの説明で申し訳ございませんでした。(拍手) (60)